

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 第1回委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 平成 24 年 9 月 20 日(木) 14:00～16:00
- 2 場 所 : 尾原ダム管理支所 (島根県雲南市木次町 211-5)
- 3 出席委員 : 速水雄一委員長、作野広和委員、勝部博委員、中林英清委員、井上勝博委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、舘健一郎委員

4 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶 国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長
- 3) 出席者紹介
- 4) 委員会の設立
 - ①設立趣意
 - ①規約
 - ②委員長の選出、挨拶
- 5) 議事
 - ①水源地ビジョンの概要
 - ②水源地域ビジョンの策定事例
 - ③尾原ダム水源地域ビジョンの策定手法
 - ④尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針
 - ⑤広報計画
- 6) その他
 - ①情報提供
 - ②水源地域ビジョン策定に向けた意見交換
- 7) 閉会

5 配布資料

- ・資料 1 : 尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会 設立趣意・規約 (案)
- ・資料 2 : 水源地域ビジョンの概要
- ・資料 3 : 水源地域ビジョン策定事例
- ・資料 4 : 尾原ダム水源地域ビジョン策定手法 (案)
- ・資料 5 : 尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針 (案)

6 議事要旨

1) 委員会の設立

- ・尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会設立趣意については、事務局案一部修正の上、承認された。
- ・尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会規約(案)についての審議を行い、承認された。
- ・規約に従って委員長の選出を行い、委員長には速水委員が選任された。

2) 議事

①尾原ダム水源地域ビジョンの策定手法について

- ・水源地域ビジョンの策定手法については、事務局からの提案どおりとする。
- ・「尾原ダム水源地域ビジョン作業部会 (仮称)」のメンバー選定については、事務局に一任する。

②尾原ダム水源地域ビジョンの基本理念・地域の目標像・基本方針について

- ・水源地域ビジョンの合意形成をどの程度の範囲まで得るかについては、本委員会で決めることとする。なお、策定経緯については、上下流で実施されているイベントなどにおいて、積極的にPRを行う。
- ・基本理念については、本委員会の委員の意見を踏まえ事務局で整理を行い、作業部会での議論を踏まえ、委員長承認のうえ第2回委員会において報告する。
- ・地域の目標像については、「斐伊川流域圏の連携による尾原ダム周辺地域の自立的・持続的発展」とするが、作業部会の意見も伺ってみることとする。
- ・基本方針については、尾原ダムらしさを組み入れた表現とするよう事務局で再整理を行い作業部会の意見を踏まえ、委員長承認のうえ第2回委員会において報告する。
- ・尾原ダム水源地域ビジョンの対象範囲については、事務局からの提案どおりとする。

③広報計画について

- ・広報範囲については、事務局からの提案どおり鳥取県側も含めた斐伊川流域圏全域とする。

3) 水源地域ビジョン策定へ向けた意見交換

- ・地域の方々との合意形成の図られた計画として水源地域ビジョンを策定してほしい。なお、水源地域ビジョンづくりを通して、上流域の各種団体あるいは住民組織が連携することを願っている。
- ・さまざまな流域の地域づくり、あるいは上下流連携のあり方を模索する事業として、斐伊川・神戸川流域における「命の絆づくり事業」を展開しており、この事業のノウハウを水源地域ビジョンの策定に活かしていただければと思う。
- ・地域住民や関連団体が自ら策定したという手作り感が必要であると考えている。
- ・地域で活動している方がいるが、地域住民の大部分にとって、活動を実施しているという認識がないため、下流域への広報も重要であるが、地元にも周知する必要がある。
- ・平成17年度に策定された『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』には地域住民の意見が反映されている。今後設置される作業部会では『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』の内容を作業部会のメンバーへしっかり説明し、理解していただいたうえで、検討を行っていただきたい。
- ・これまで「尾原ダム地域づくり推進連絡協議会」が行ってきた地域づくり検討との整合性を図りビジョンづくりを行う必要がある。
- ・斐伊川流域での水源地域ビジョンの合意形成のためにも、作業部会のメンバーについては、広く意思疎通が図れるようなメンバー選定が必要である。
- ・作業部会のメンバーは、地域の意向が反映されるように選定する必要がある。
- ・尾原ダムならではの水源地域ビジョンとなるように、表現も含め検討してもらいたい。
- ・ビジョン策定にあたっては、地域が豊になるような、或いは賑やかになるようなアクションプランを入れていただきたい。例えば、ダム堤長道路を含む4箇所のおろち湖面の横断橋梁の活用、周辺地域の歴史や伝統文化等を組み合わせた活性化方策など。
- ・上下流交流に力を入れてやって頂きたい。それが中流下流の治水事業の進展にもつながる。
- ・県としても自転車競技施設やボート競技施設の管理を行うと伴に、それらの施設をビジョンづくりの中で活用できるよう協力したい。
- ・「尾原ダムならではのなにか」を明らかにし、水源地域の潜在ポテンシャルを明確にしていくことが重要であると考えている。
- ・尾原ダムは、構造物としての機能に基づいて建設されてきたが、今後はその構造の美しさをみてもらう工夫をする必要がある。

- ・水源地域ビジョンは、基本理念とアクションプランをとりまとめた形となっているが、まずはやってみることが大事であり、アクションプランが重要である。
- ・尾原ダムがなぜ建設されたかを念頭に置き、「斐伊川・神戸川治水事業３点セット」の早期完成につながるよう、上中下流交流などを水源地域ビジョンの中に盛り込んでいく必要がある。

以 上